

平成 21 年度桑名三川商工会地域貢献アピ - ルプラン

桑名三川商工会は、私たちの住んでいる地域がさらに発展し、住みやすい町になるよう次に掲げる事業を計画しました。

1. 活気あふれる地域振興を図ります。

当地域は農林水産業や商工業が活発です。当商工会は、地場産業の活性化と新産業の創出及び魅力ある商業の活性化を図るとともに、自然環境と歴史的・文化的資源を生かした観光振興を図ります。

商業は市内および近隣地区に相次いで大型店が進出し、地域商工業者は厳しい状況で後継者難がありますが、地域住民の利便性を確保し、楽しく買い物をしていただくためポイント加盟店事業を活発に行うと共に加盟店の増強キャンペーンを展開します。また、地域商業者と農業者との連携による農商工連携事業についても特産品委員会を設置し積極的に展開します。

工業は製造業を中心に活発な地域でしたが、近年の不況により自動車関連製造業を中心に大変厳しい状況であり、今後は自社の技術を生かし経営革新や第二創業に取り組むよう支援を行い経営革新法認定事業所を年間で 2 件目指します。

観光は旧多度町も旧長島町も観光名所が多い地域であり両地域を有機的に結ぶ観光ル - トを研究し今後の地域活性化へ力を注ぎます。また年間 700 万人の観光客に対し特産品を生かした土産等の開発に努力します。

雇用はインター - シップ制度の積極的な推進とハロ - ワ - ク、桑名市、桑名商工会議所と合同で緊急合同就職面接会を開催します。

木曾三川流域商工会連絡協議会(愛知県愛西市商工会、岐阜県海津市商工会、三重県桑名三川商工会)を積極的に活用し、商工業者の更なる事業展開を支援します。

2. 安心・安全なまちづくり

東海地震・東南海地震、南海地震など大災害に対する防災対策を確立すると共に防犯等安心・安全な生活がおくれるまちづくりを推進します。

防災対策として、台風や地震の災害時に地域商工業者として、緊急時に協力・支援できる内容についてリストアップを行います。(車両・食料・衣料等)

防犯については、子供に対する犯罪が多発しておりパトロール及び事業所の協力を得て緊急時に駆け込みができる事業所を増やします。また駆け込み事業所については、シ - ルを作成し駆け込み事業所がすぐに分かるようにします。

3. 少子高齢化に対応します。

多度あやめカ - ド、長島水郷カ - ドを中心に桑名市が推奨をおこなう「くわなスクスクカ - ド」に積極的に協力しており、今後は特典の拡大等支援策を再検討し少子高齢化社会を全力でバックアップします。

4. 環境問題に取り組みます。

女性部を中心に、環境浄化微生物等環境問題の研究及び啓蒙活動を展開し、地域住民が安心・安全に暮らしやすくなる環境作りを推進します。

平成 21 年度 木曾岬町商工会地域貢献計画

木曾岬町の中で商工会がいかに関わりを持って事業展開ができるか次に掲げる事業を取り組んでまいります。

1、地域商工業者の育成と支援

会員への支援事業として、巡回指導を実施し、経営革新や新分野進出・創業へ取り組む企業を育成します。また専門家派遣事業を活用し、経営課題を解決していきます。

2、地域防犯、交通安全への取り組み

- ・ 防犯ステッカー・防犯旗等での啓蒙及び犯罪抑止活動
- ・ 地域見守り隊を結成し商工会員が小中学生の登下校時に常に気を配って見守ります。
- ・

3、環境美化の取り組み

女性部を中心に商工会館周辺に花を植え環境美化を啓発します。年 2 回

4、イベントを通じて地域住民との密着を図る。

- ・ 産業文化祭
- ・ やろまい夏祭り
- ・ さくら祭り

平成21年度いなべ市商工会地域貢献計画

いなべ市がさらに発展するように、平成21年度次に掲げる事業に取り組めます。

環境先進商工会を目指します。

・4つのRの推進

Refuse(リフューズ：発生抑制),Reduce,(リデュース：ごみを減らす)

Reuse(リユース：再利用する),Recycle(リサイクル：再生利用する)

M EMS 認証取得支援

農商工連携の推進

・市との連携を活用した特産品の創出、販路開拓について関係団体と連携して取り組み地産地消の推進と地域の活性化に努める。

情報化社会に即応した商工会ネットワークづくり

・商工会ホームページを活用した会員事業所の地域への事業紹介

外国人研修制度の研修・研究

・研修制度及び技能実習制度の紹介

平成 21 年度東員町商工会地域貢献計画

東員町がさらに発展するよう、平成 21 年度、東員町商工会では、次に掲げる事業を立案し、可能ならしめる事業より取り組んでまいります。

1 町に活力を

- ・特産品開発・創造委員会(仮称)の創設
会員からアイデア及び人材を募集し、工業製品を含む特産品を創造、開発し町に活力を与える。
- ・農業商工祭観客動員数を昨年対比 2 倍に
農商工連携のさきがけともいえる農業商工祭を農協、行政との協力により充実させ、町に活力を与える。

2 商業を元気に

- ・商工情報誌「Suteki Toin」の作成と町全戸配布により、「安心・安全商店街」を PR します。

3 ものづくりで貢献

- ・地域に必要なもの、役に立つもの、住民の方々の声(要望)を集め、工業部会を中心に考案・制作をしていきます。
- ・町のイベント、商工会のイベントにもものづくりコ - ナ - を設け、会員が有する知識技術を伝え、ものづくりの楽しさを味わってもらう。

4 くらしを支援

- ・建設部会を中心にした「住まいの相談会」を活用し、住宅に関する要望に答えます。
- ・会員事業所からの情報をもとに、一人暮らし老人への一声かけ運動を会員、職員とともに実施する。

菰野町商工会地域貢献アピールプラン（21年度）

私たちの住んでいる地域がさらに発展し、菰野町をアピールする情報発信源の役割を担う事業として菰野町商工会は、下記に掲げる事業に取り込むよう計画をしました。

* 専門家、高度化する創業・経営革新等時代の要請に即した支援の展開

創業や経営革新、新規事業展開（創業）を目指す企業において抱える様々な課題を解決するための経営相談・専門家派遣・企業診断・各種研修セミナー等の支援策を積極的に進め、会員ビジネスチャンスの拡大の場を提供できるよう商工会広域連携を進める。

* 情報化社会に対応した事業強化の取り組み

情報機器の普及に伴い、会員等に対し商工会におけるホームページとブログの有効活用を進め、恒常的に最新情報の提供を積極的に行い広域的な会員とのコミュニケーション機能の構築を進めます。

今年度は、昨年度からの継続事業、商工会のホームページを利用し商工会員事業所の紹介、菰野の特産品等と飲食店等ガイドマップの作成。

* 地域資源 全国展開プロジェクトの取り組み

おかえりなさい 夕焼け空に 赤とんぼ舞う マコモの里へ

～健康食材マコモ活用プロジェクト～

町名由来の植物「マコモ」を地域資源として活用し、この地域ならではの特産品の開発と「マコモ」と鈴鹿山麓国定公園の豊かな自然をマッチングさせた観光サービスの開発を行うことにより、地域全体の第1次、第2次、第3次産業を連携させた第6次産業化の開発を行う。

「マコモ」の活用で夕焼け空に赤とんぼの舞う自然あふれる故郷「マコモの里」づくり。

「マコモ」を活用した「充実した生き方としての健康」「自然の中でのんびりロハスなスロ・ライフ」の提案として体験型ツアー観光サービス開発。

「マコモ」を契機とした地場産業の活性化。

平成 2 1 年度地域貢献アピールプラン

2009 年 5 月 19 日策定
楠 町 商 工 会

[地域貢献アピールプラン]

1 . 地域経済の活性化のための地域産業の育成を図ります。

1) 経営革新に取り組む事業者及び新規創業者の創業支援や経営革新・新事業展開を目指す事業者が抱える様々な課題を解決するため、経営相談、専門家派遣、企業診断、各種研修・セミナー等の支援策を総合的に展開します。

また、商工会単独では対応の難しい問題には、弁護士、税理士、社会保険労務士や中小企業診断士など各分野の専門家による相談事業により、あらゆる経営問題に対応できる体制を整えます。

2) 経営管理基盤の整備支援

自計化支援及び記帳代行等により適正な記帳や税務申告の支援を行います。
また、E - T a x の適用促進に努めます（税務署や青色申告会とも連携）。

3) 事業資金の調達を支援します。

キャッシュフロー経営を支援するとともに、日本生活金融公庫の事業資金を始め、市・県の制度資金等の活用により企業の資金調達を支援します。

4) 雇用環境の整備を支援します。

労働保険事務手続き支援（労働保険事務組合受託）のほか、小規模企業共済による経営者の退職金、中小企業退職金共済による従業員の退職金制度の普及に努め、地域勤労者雇用の要である地元企業の福利厚生拡充を支援します。

2 . 活力溢れる地域づくりに取り組みます。

1) 朝市及び商店会の活動を支援

地産地消をテーマにした朝市や商店会等の活性化イベントを側面支援し、世代間、市民間交流を促し、活力あるまちづくりを目指します。

2) 消費者利便性向上への支援

「くすスタンプ会商品券」の普及拡大、「ハッピーカードゆりかもめ」の利用促進を支援し、消費者の利便性の向上に努めます。

3) 地域の美化運動を支援

商工会女性部を中心とした花いっぱい運動により、四季折々の草花を公的施設等に設置します。また商工会青年部を中心として地域内の清掃運動を実施します。この運動を通して「地域社会を美しく・明るく・住みよく」します。

4) 地域コミュニティ活動を支援

地域住民の日常生活における困り事やニーズに対応し、地元事業者の売上拡大と新規顧客の獲得に繋げるため、引き続きコミュニティビジネス事業「困り事救Qらくだ」に積極的に取り組み、地域課題の解決や地区の活性化が図れるよう努めます。

また、上記のコミュニティビジネスとともに公的施設の指定管理者制度への取り組みにより、地域の市民活動や市民ニーズに的確に対応し、民間事業者の能力やノウハウを幅広く活用し、市民サービスの向上や行政コストの削減を図ります。

朝明商工会地域貢献アピールプラン（21年度）

朝日町、川越町の両町がさらに発展し、地域が活性化されるよう下記事業に取り組みます。

元気な町づくりを応援します

交通アクセスを活用した元気な町づくりを応援します。

JR・近畿日本鉄道・国道1号・国道23号・伊勢湾岸自動車道と大変交通アクセスに恵まれた立地を生かし住環境の整備による暮らしよい町づくりを応援。

製造業（ものづくり）が元気な町づくりを応援します。

地域社会と共生できる製造業者の振興と発展を応援。

産業振興と雇用機会の拡大を応援。

元気な小売業による町づくりを応援します。

既存の商店街、富洲原駅・伊勢朝日駅、及び1号線沿線の商業者の振興発展と町民間交流並びに消費者の利便性が図られる活力ある町づくりを応援。

経営基盤の支援を図ります

地域小規模事業者を中心に多種多様な経営ニーズに対応し地域経済の活性化を図る。

創業・経営革新、新規事業展開を目指す企業が抱える様々な課題解決に、専門家派遣・企業診断・関係セミナー等の支援策を積極的に進める。

経営指標となる会計の自計化支援として専門家による記帳指導及び青色申告会と連携し適正な経理による税務申告支援を行い経営基盤の確立を目指します。

平成 2 1 年度津北商工会地域貢献計画

津市の河芸町地区・大里地区・高野尾地区では、企業立地、新規住民の流入、等により地域が大きく変化しており、防犯・防災、環境保全等、安全・安心な地域づくりへの関心が高まっています。

一方、地域事業者の現況をみると、世界的な金融危機により、未曾有の企業危機が押し寄せ、企業倒産、非正規雇用者のリストラ等小規模事業者の廃業が大幅に増加しています。

このような地域環境を踏まえ、産業を活性化するとともに、地域を住みよく安心できるものとするため、当商工会では、以下に掲げる事業に取り組みます。

以下の事業については、津・伊賀広域商工会連合と連携して実施します。

津北商工会は、幹事商工会として、津市商工会と、創業塾を開催し、地元創業者の輩出を図り、新規創業により、雇用確保に努めます。

1) 創業塾の開催

当商工会では、三重県知事認定の経営革新への取り組み企業を促し、認定に向けて支援します。

当商工会では、津市と連携し、農商工連携事業及びコミュニティファンド事業への取り組みに努めます。

1) 付加価値商品の開発

2) 地域の一品運動

3) 地域の物産 PR

労働力確保が困難となっており、地域企業の存続、地場産業の衰退にもつながる状況にあることから、労働力確保事業に取り組みます。

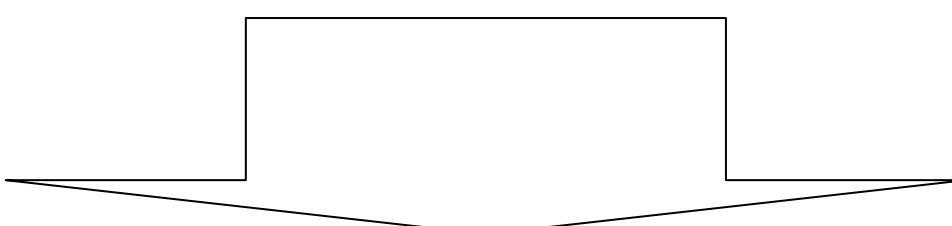
- 1) インターネットを活用した求人情報の提供事業
- 2) 外国人受入れ事業への取組み強化
- 3) 体験学習受入れ企業の発掘
- 4) インターンシップへの協力

商工会職員による巡回指導強化に努め、会員ニーズの把握に努め、経営の合理化と生産性向上に取り組みます。

- 1) 専門的支援は、専門家派遣事業を活用

地域住民と商業者のきずなを深めるため、また、当商工会地域の魅力をアピールするため、地域イベントの開催に取り組み県内外へ情報発信します。

- 1) カムカムフェスタ2009



地域の安心・安全

- 1) 女性部による花いっぱい運動の実施
- 2) 女性部による防災事業への取組み
- 3) 女性部による環境セミナーの開催
- 4) 建設業部会による安心、安全な地元建設企業PR事業
- 5) 地域住民と外国人研修生との文化交流への取組み

総代会議案書抜粋

．基本方針

社会環境の変化に伴い、国の小規模企業施策が見直され、創業や経営革新への支援が最重要課題となり、商工会も変革への対応を求められている。

また、経営改善普及事業はもとより、地域の総合経済団体として地域振興、まちづくり、環境対策の活動にも大きな期待が寄せられている。

これら期待に応えるため、『信頼される商工会』を目指し、以下の諸事業を展開するとともに、自主財源の確立、役職員の資質の向上を図ります。

【重点事項】

- (1) 専門的かつ高度な支援サービスの提供
- (2) 商工会組織の機能強化
- (3) 地域課題への対応
 - ・ 商店街活性化への対策
 - ・ 過疎化への対応
 - ・ 環境・福祉への貢献
 - ・ 行政との懇談会の実施
- (4) 地域産業の育成
 - ・ 地域資源の掘りおこし
 - ・ 農商工連携への取組み
 - ・ 地場産品の開発及び販路支援
- (5) 事業者に対する福祉対策・労務対策の強化
- (6) 商工会合併記念事業の実施

．地域総合振興事業実施計画

1．地域貢献 アピール事業

取組む地域貢献活動

安全で安心して暮らせる地域づくりへの貢献
美しい環境維持への貢献
地域資源活用による、地域活性化への貢献
次代を支える人材の育成

2．総合振興と 経営対策事業

(地域活性化事業)

地域の活性化と商工業振興のため、各種の振興事業・イベント事業を推進、地域特産品及び地場産品の販路開拓と紹介、地域観光PR事業等を支援するとともに、各種物産展への積極的参加と開催により地域商工業の振興・活性化を図る。

平成21年度 伊賀市商工会地域貢献アピールプラン

平成 21 年度において伊賀市商工会では、地域がさらに発展するよう次に掲げる事業に取り組めます。

- (1) 農林事業者と商工会会員が連携し、伊賀地域の特色ある産物、地域特有のイメージある産物を活用した特産品の開発を進め、販売と情報発信に取り組めます。
 - ・ 菱の実加工食品等の商品化及び安定供給に向けた調査研究
 - ・ 道の駅、直売所等での販売促進、情報発信（ S H I F T 等）による支援

- (2) 商工会活動として河川の水質改善の活動を進めるとともに、地域住民、子どもたちの環境意識の啓発を進めます。
 - ・ えひめ A I の普及・利用促進
 - ・ えひめ A I 作成教室の開催
 - ・ 環境学習の開催

- (3) 商工業の振興、継承のため、人材育成・確保に取り組めます。また、経営に関する様々なアドバイスを行う人材の確保・提供を進めます。
 - ・ 創業塾の開催
 - ・ ビジネスアドバイザー（企業等 O B 人材）による経営支援

- (4) 地域の農林業・商工業、豊かな歴史文化や自然環境を活かして、何度も来たくなるような観光・交流の機会を創造します。
 - ・ 体験型イベント・ウォーキング大会の開催
 - ・ 地域の祭・イベント開催への支援・参加

- (5) 地域経済振興発展のため消費拡大に取り組めます。
 - ・ 定額給付金にあわせプレミアム商品券の発行（上野商工会議所と共同）
 - ・ 取扱店登録の促進

(6) 買物に支障がある高齢者等にも安心・安全・便利な生活ができる環境が住民に提供できるよう商工会会員の知恵と力を集めて取組めます。

- ・ 宅配サービス、買物代行の研究

平成21年度地域貢献アピールプラン事業

松阪北部商工会

商工会は環境保全に取り組みます。

近年は「環境」に関する関心が世界規模で高まり、事業活動においても環境重視がますます重要になってくると考えられます。このような状況を踏まえ商工会は環境に関する事業に取り組み、小規模事業者の環境に対する意識を喚起することにより社会的貢献および社会的信用の向上に努めます。

商工会は地域の特色を生かした特産品等の研究に取り組みます。

この地域は現在では地方都市間の郊外地域としての性格が色濃くなっていますが、古くは農村を中心に山村・漁村として発展してきました。

この特色をも意識し、新たな特産品開発を視野に入れた長期的な展望に立つ地域振興特産品等研究事業に取り組みます。

これにより将来的には新たな事業ができることを目指します。

商工会は地域購買力の地域内消費を目指した取り組みをおこないます。

世界的不況による不況対策として政府による「定額給付金」が交付されますが、この定額給付金を地域活性化に結びつけるための事業を実施します。

具体策として「商工会議所・松阪西部商工会と共通の商品券」を企画し実施します。なおかつ既存の「期限付地域商工振興券（松阪北部商工会）」についても「定額給付金」制度を有効活用した普及促進事業に取り組みます。

商工会は地域の特色を生かしたイベント活動に取り組みます。

松阪北部商工会が発足し丸一年が経過しました。合併前から両地域には商工会イベントが存在し地域住民にも浸透・支持を受けております。

合併後これらのイベントは両地域の会員が一体化して実施してきましたが、今後は新たなイベントを企画・実施することにより、松阪北部のイベントであるという新たな団結を目指して取り組みます。

商工会は会員相互間の連携・交流を促進します。

商工会が合併し地域が広がりました。このスケールメリットを生かし会員相互がより幅の広い人脈を形成し自らの事業に役立てる事を目指し、会員相互の情報交換・交流を促進する事業に取り組みます。

平成21年度 松阪西部商工会地域貢献計画

**『中山間地域の緑豊かな自然と伝統が
息づくまち』を次世代に引き継ぐために**

松阪西部商工会

平成21年度松阪西部商工会地域貢献計画

地域の現状

松阪市を取り巻く環境は、三位一体改革に伴う地方の自立が求められている中で、私たち中山間地域は地域産業の衰退をはじめ、急激な過疎化、高齢化などますます厳しさを増し、商業活動の停滞、商店の閉店も目立つようになってきております。

地域における商店は、とくに高齢者の方々の生活には欠かせない存在であり、地域商店の賑わいと地域企業の繁栄こそが、地域雇用の創出と地域活性化に繋がる重要な要素であると考えています。



そのような中

平成20年度、商工会は、下記の事業に取り組んできました

・**厳しい経営環境下、地場企業を減らさない為、地域内商工業者の経営をサポート** 繁栄する企業づくりを支援

・地域企業への巡回(巡回指導 733 件 / 訪問 2599 件)訪問を通し、ニーズを把握し、専門家派遣(21件 / 年)等経営支援。

・金融相談(斡旋14件 8070 万 / 決定 6520 万)、税務指導(決算申告も含め延べ1222件 / 年)、労働保険等の各種の支援体制(469 件 / 年)を通じ、経営の安定と安心して勤務できる環境作り等地域内商工業者の経営をサポート

・**国・県・市と商工業者の中間支援組織として** 関係する官公署の施策、情報の伝達と代行業務を行い、地域内商工業者や従業員、創業希望者へ一番身近な地域経済団体として 創業、経営革新、福祉の増進に寄与、関係団体と共に繁栄する企業づくりを目指す。(松阪広域商工会と連携し、創業塾・経営革新塾を開催)

・**環境への対応** 女性部花いっぱい運動、交通安全運動・防災マップの配布・青年部美化運動、を通し、環境意識の啓蒙と地域環境保全に寄与。

・**地域資源の活用、農業の振興** 広域連携地域活性化事業による1次産業とのマッチングを図り、地域資源の商品化(和紅茶生産販売)を行い、地域産業の掘り起こしと活性化に寄与。

・**地域観光の振興** いにしへの事業による PR、情報発信

・**地域コミュニティ再生への支援** 中間支援組織として地域自治への情報提供(ほんわかだより)、青年部、女性部のイベントの協力(地域介護老人保健施設イベント協力や地域イベントへのバザー協力)。



平成21年度は

松阪西部商工会は、以下に掲げる事業を重点的に取り組むことにより、飯南町・飯高町の地域課題の解決、地域の更なる発展に貢献してまいります。

1. 地域内事業所皆様の厳しい経営状況改善に対し、専門的な指導・情報発信等強力にサポートし、地域経済の活性化に努力して参ります。

地域経済を支える事業所の経営環境を向上させるとともに、経営革新を支援し雇用の場の提供を目指します。また、お客様満足度を

高めるため、商店へのアドバイスや広域商工会との連携を図り、より支援してまいります。

1) 会員巡回を積極的に実施し、どのような支援が求められているか会員ニーズを把握し、専門的な対応をさらに進めていく。

2) 新商品開発や異業種分野への事業展開を考えている事業所に対して、情報の提供と経営診断等専門家派遣を実施し支援する。

3) 記帳指導対象事業所への自経をさらに進めるとともに、経営指導を行う。

2. 全国展開事業等を通じ、地域資源を活かして、内外に誇れる「わが町逸品」を開発・製品化します。

今年度は、小規模事業者新事業全国展開支援事業や過疎地域等活性化支援ふるさと雇用再生

事業等を実施することにより、地域の

新産業としての事業化や雇用機会創出を目指します。

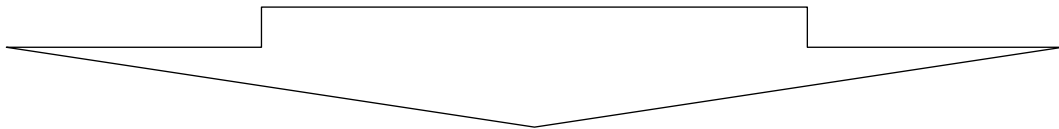
- 1) 緑茶葉の加工法により、日本一の煎茶の里より「伊勢の和紅茶」を生産発信し、販路開拓。今年度は、年間3tの販売を目指します。
- 2) 地域資源のさらなる活用として、月出のクレソン・茶粥・茶の実を活用し新商品の開発研究を行います。
- 3) 地域資源を活用し、商品開発販売・企画研究、全国展開できる組織体制の確立とそれによる雇用の場の創出を目指します。

3. にぎわいと活力あふれる地域・安心して暮らせる地域をめざします

今年度は、小規模事業者新事業全国展開支援事業や松阪市広域商業研究事業により、地域資源である大自然のすばらしさをPRして

入りこみ客数の増大を図るとともに、地域内事業所の振興と地域福祉の振興を図ります。

- 1) ニューツーリズムの視点等も取り入れ、観光資源の魅力を再定義し、新たな観光ルート・観光商品を作り出す。
- 2) ガイドマップを作成配布を行い、地域のPRにつとめます。
- 3) ルート166との連携し、地域への来客増を図る
- 4) SSネット活動や福祉弁当の検討により、地域福祉体制の整備研究を図る。



地域住民や地域事業者が将来に希望がもてる地域実現に寄与してまいります。

平成 21 年度 多気町商工会地域貢献計画

多気町がさらに発展するよう、平成 21 年度、多気町商工会では、次に掲げる事業に取り組みます。

安全・安心して暮らせる地域づくりへの貢献、美しく住みやすい生活環境維持への貢献、地域資源を活用した地域活性化への貢献、をテーマとした社会貢献活動への取組みを推進する。

商工会活動の将来的な方向性を明確にし、地域経済団体としての事業活動を展開する中で、地域にその存在感を強くアピールできるような広報活動を努める。

多気町の振興活性化を推進するため、広域的観点からの行政や経済団体、ボランティア団体等の各種の諸団体が一堂に会する交流懇談会を開催する。(平成 22 年 2 月 14 日開催予定)

事業経営からの福利厚生と、健康管理を促進するための「特定健診」を、行政と連携して、受診率の向上を図るための勧奨とその普及に努める。

地域が一丸となって取り組んでいる防犯パトロールに対して、「かけこみ寺」ならぬ「防犯かけこみ店」運動を促進し、青少年の育成と地域の安全で安心できる地域環境を創造する。

新設のホームページを活用した地域の多種多様な情報発信に取組み、多気町への関心が高まるよう努める。

明和町商工会「中期計画」

平成20年4月

・組織問題

郊外型の大型店、外部資本の進出等で、組織率が60%を割る状況にある。

そのため、地域全体の経済団体としての基盤を確立するためには、加入率65%は必至と考えられる。

平成20年度当初の法定会員(377名)を、向こう3年間(20年度~22年度)に加入率65%(45件加入)達成を目標に加入促進を行う。

地区総代制を活用して、地区別懇談会を開催するなど、地区との連携を強化することで、各地域の末端会員まで商工会の存在意義、事業内容等を周知し、組織の濃度を上げると共に、新たな会員の発掘に努める。

・財政問題

県、町とも厳しい財政運営の中であり、商工会への補助金・助成金も漸減傾向にあり、一方長期に低迷する地域経済の中にあって厳しい経営を強いられている会員事業所に、会費を含め、必要以上に多くの負担を求めることができない。

まず既存の収益構造の見直しを行う。

・受益者負担原則による事務代行手数料の見直し

特に、記帳関係手数料については、平成20年度からはじめた「決算状況のお知らせ」を各事業所毎に作成し、説明することを定着させる。

・ふれあい共済の推進

制度の内容は、他の類似の共済に比べて、勝るとも劣らないものがあり、周知・PRに務め、向こう3年間の加入率対前年比5%アップ(計15%)を目標に促進を図る。

・あらたな収益事業の研究

商工業者を会員とする商工会の収益活動には、自ずと限度があるが、会員事業所の理解を得られる範囲で、あらたな収益事業への取り組みを研究する。

・既存事業のスクラップを含めて検討する。

. 事業について

中小企業基本法改正以降、国や県が政策（補助金）として求める創業・経営革新等小規模事業者の経営支援に力を注ぐ。

具体的には、広域連合との連携の中で経営革新及び第二創業に取り組む事業所の支援を、毎年2件以上行っていく。

また、専門家相談事業についても、訪問・巡回の中での課題抽出を積極的に提案し、毎年10件以上の相談を実施する。

費用対効果を勘案し、既存事業の見直し（スクラップ）を行う。

. その他

- ・町行政と一体となって地域の振興発展に資するため、双方の情報交換の場としての町政懇談会を年1回程度定例化していく。
- ・昭和45年に建設をした現在の開館は、商工会事務所としては、老朽化が激しいのみならず、昨今の経営支援には不向きになっている。可能な限り早急に対策を検討する。

平成 21 年度 大台町商工会地域貢献計画

平成 21 年度において大台町商工会では、地域課題の解決、町の更なる発展に貢献するべく次の事業に取り組んでまいります。

- 1 . 地域事業者の経営をサポートして地域経済の活性化に努めます。
 - (1) 事業者ニーズ把握のための巡回訪問活動の実施
 - (2) 専門家派遣を活用した専門的内容の支援の実施
 - (3) 創業・経営革新に取り組む事業者への支援の実施
 - (4) 地域事業者の製品・商品等の P R と企業情報の発信

- 2 . 地域イベント等への参画を通して、地域住民とのふれあいを図ります。
 - (1) 夏まつりの開催
 - (2) どんとこい大台まつり協賛
 - (3) 事業所の小イベントに対する支援協力

- 3 . 町と共に地域課題の解決に努力し、地域の元気を生み出します。
 - (1) 紀勢自動車道パーキングエリアを活用した地元産品販売と観光 P R
 - (2) 獣害対策に絡む鹿・猪を利用した商品開発と P R、販路確保の検討
 - (3) 大杉の自然環境の維持保全と誘客・活用等による地域づくり応援
 - (4) 高齢者・障害者等に対する日配品の宅配供給する方策の検討
 - (5) 地域資源の活用や農商工連携による町・事業者の元気づくり支援

- 4 . 地域の環境美化の啓発活動とゴミ減量化に向けた取組みを行います。
 - (1) 女性部を主体とした花いっぱい運動の実施
 - (2) エコバッグ持参声かけ運動と簡易包装推進運動の実施

平成21年度大紀町商工会地域貢献アピールプラン

大紀町がさらに発展するよう、平成21年度、大紀町商工会では、次に掲げる事業に取り組めます。

1. 大紀町に合ったまちづくりのための協働関係の更なる構築

まちづくりのための各種団体への支援・・・地域に合ったまちづくりを実現するため活動している各種団体に対し、昨年度組織化した「大紀町産業会議所」として、様々な角度からの支援を行います。

一次産業との連携・・・農林水産業等の一次産業との連携を行い、地域の付加価値向上のための取組を行います。

循環型地域内需経済システムの構築・・・地域通貨(共通商品券)を導入します。

2 交流人口増加のための地域活性化策の推進

海・山・川の豊かな自然環境や瀧原宮・頭之宮等の史跡・名所を活用した新たな観光ルートを創出し、観光客の増加に努めます。

豊富な地域資源を活用した体験型集客交流事業の推進により、交流人口の増加に努めます。

しいたけ・干物・乳製品等の特産品のブランド化を推進します。

イルミネーション事業等の実施により、地域の元気を演出します。

ホームページ等の活用により、地域の魅力を積極的に発信します。

3 組織基盤の強化

地域唯一の総合経済団体としての責務を果たすため、組織の強化に努めます。

組織率80%を目指します。

自主財源率50%を目指します。

平成21年度 玉城町商工会地域貢献計画

玉城町がさらに発展するよう、平成21年度 玉城町商工会では、次に掲げる事業に取り組みます。

1. 地域商工業者への積極的な経営サポートにより地域経済の活性化に努めます。

地域事業者密着によるきめの細かい支援の実施
職員と専門家により掘り下げた経営支援の実施
創業、事業転換、再起業、事業再生に対する積極的支援

2. 地域資源を活用した新たな産業創出、観光振興に取り組み活力ある地域づくりを推進します。

農商工連携等地域資源を活用した振興対策の推進
特産品等の販路開拓支援
産業観光をはじめ歴史的・文化的資源を活用した観光振興の推進

3. 夏まつり、冬のイルミネーション事業の実施や地域行事への参画を通じて、地域住民とのコミュニケーションを図ります。

4. 地域の美化や青少年育成のボランティア活動を推進します。

女性部によって公共の場及び町内事業所へ年2回花のプランターを設置し環境美化の推進・啓発を行います。

青年部が町内保育所へクリスマスにサンタの訪問をし園児との交流を図ります。

平成21年度 小俣町商工会地域貢献計画

小俣町の地域課題の解決、地域の更なる発展に貢献します。

1. 企業経営をサポートし地域経済の活性化に努めます。

- (1) 地域内の商工業者の徹底した巡回・訪問を実施
商工業者がどのような支援を、今、求めているかを把握するため、巡回期間を設け、地区毎に巡回・訪問活動を行い、活気ある地域経済づくりに取り組みます。
- (2) 緊急融資相談窓口の設置
日本政策金融公庫、三重県信用保証協会及び管内金融機関と連携をとり、商工業者の設備・運転資金の需要に対応し、融資の斡旋を行います。
- (3) 経営革新事業計画立案の支援
商工業者の新しい事業への取組に対し、個別相談や専門家派遣を行い、経営革新の事業計画立案について支援を行っていきます。
- (4) 情報化及び企業間取引の支援
紙媒体やホームページを活用した企業情報発信のための支援を行い、企業間取引（B to B）の推進します。
- (5) 外国人研修生・技能実習生の受入支援

2. 特産品・地域資源を活用し地域の元気づくりを行います。

- (1) 地域特産品のPR、開発について支援を行い、地域活動の情報発信を行います。
- (2) 歴史的資産を活用し地域活性化を図ります。
離宮院跡、JR宮川駅など歴史的資産を活用し、宮川駅周辺の活性化のための方策を実施します。

平成 21 年度 度会町商工会地域貢献計画

度会町がさらに発展するよう、平成 21 年度度会町商工会では、次に掲げる事業に取り組めます。

特産品開発社会福祉の増進を図ります（継続事業）

- ・商工会女性部が地元特産のお茶から出る、お茶殻を集め、それを詰めた枕・町木である桧を活用した枕を作成し、町内の高齢者施設に寄贈します。

安心して暮らせる環境づくりを行います（継続事業）

- ・商工会の会員、青年部が仕事での移動時間を兼ねて町内の安全パトロールを行います。防犯に対して、またゴミの不法投棄等の環境調査に対してのパトロールとし、町への連絡を行います。

特産品開発事業へ取り組みます

- ・全国展開支援事業で研究開発を行なった地域特産のわたらい茶を活用した商品について販路開拓を行います。
- ・現在全町内で獣害被害が多発し農家をはじめ一般世帯の生活圏を脅かしている。獣害対策として駆除した猪、鹿を活用した特産品の開発を行います。

・次代を担う人材・グループの育成を行います（継続事業）

- ・青年部、または地域の事業所の若い従業員を対象にリーダー養成、人材育成の研修会を行います。

地域産業の活用を行います

- ・町内飲食店を記した簡単なマップを作り、町内に配布設置します。
- ・青年部による私製電話帳（住宅地図付き）の作成を行ない、町内全戸無料配布を行ないます。

平成 21 年度南伊勢町商工会地域貢献計画

南伊勢町がさらに発展するよう、平成 21 年度、南伊勢町商工会では、次に掲げる事業に取り組みます。

1. 持続可能な産業が発展するよう努めます。

- (1) 地域商工業者への、巡回指導(各人年間 300 回～600 回)・窓口指導行う。
- (2) 地域ブランドの掘起しを行う。
- (3) 地域の誇れる産業(水産関連業種など)の高付加価値化を図り、経営革新の支援を行う。
- (4) インターネットなどのメディアを通じ、地元企業の情報を発信し、企業への U・J・I ターンの促進を図る。
- (5) インターンシップを活用し、若年者の地元企業への就労意識を促す。
- (6) 町内事業所(会員)マップを作成し、宿泊施設を中心に設置し、町内事業所の利用を促す。

2. 健康と福祉の増進を図ります。

- (1) ホームヘルパー養成講座を開催し、高齢者福祉対策に努める。
- (2) 独居老人宅や高齢者宅への宅配サービスを、会員事業所で行うようシステム化する。
- (3) 巡回時に、高齢者宅への声掛けを行う。

3. 文化のある地域づくりへ参画します。

- (1) 生涯学習を推進するため、各種の講習会を開催する。

4. 環境保全に取り組みます。

- (1) レジ袋の削減を推進する。
- (2) 自動販売機設置事業者へ、空き容器の分別指導を徹底する。
- (3) 観光地の美観の保全に努める。

平成 21 年度志摩市商工会地域貢献計画

志摩市を取り巻く経済環境は主産業の水産業（真珠養殖、漁業）や観光産業の低迷で依然厳しい状況が続いております。

それに伴い、商業活動が停滞し、商店街に空き店舗などが目立つようになっています。

このような中、地域の活性化と志摩市の発展を願い下記に掲げる事業に取り組む計画をしました。

1. 広域的に他団体との連携を図った事業への取り組み

志摩・度会商工会広域連合との連携・参画

市内各種団体との交流と連携事業の推進

広域観光振興策への取り組み

夢の架け橋英虞湾架橋建設早期実現への取り組み

2. 商工会主催の地域イベントの実施や各種団体が主催するイベントに参加・協力する。

6月	「伊勢えびまつり」への参加・協力
7月	『阿児の夜店』の開催
7月	「浜島の夜店」の開催
7月	「大王夏まつり」の開催
7月	「潮かけ祭り」への参加・協力
8月	「いそべ夏まつり」の開催
9月	「てんぽな祭り」の開催
9月	「絵かきの町大王 ふれあい祭りへの参加・協力
10月	「ええじゃんかまつり」への参加・協力
10月	「あわび王国まつり」への参加協力
11月	「いそべまつり」への参加・協力
11月	ミズノクラシックに協力・協賛

3. 業種別部会事業への取り組み

商店個々の力を結集し大きな効果を引き出す大謝恩祭を実施する

志摩市の「まちなみづくり」について提言する。

昨年に続き地産地消や販路拡大を目的に地域で製造、開発された特産品を一堂に集めた展示会「志摩おらげのええもん」研究会を開催する。

伝統的食文化を求め、「志摩の観光再発見の旅」を実施する。

4. 友好市との交流事業の取り組み

友好交流先の愛知県日進市商工会、長野県木祖村商工会、岐阜県郡上市商工会、岐阜県富加町商工会の各イベントに参加、志摩地域の特産品の

PRと販売を実施する。

5. 志摩プレミアム商品券「御食つ国志摩 元気券」発行の取り組み
市制6周年を機会に個人消費を喚起し、地域経済の活性化を図ることを目的にプレミアム付き商品券を発行する
実施日 平成21年 9月 1日～
発行額 2億2,000万円（プレミアム分 2,000万円）

6. ふるさと雇用再生特別基金事業・緊急雇用創出事業への取り組み
国からのふるさと雇用再生特別交付金や緊急雇用創出事業臨時特例交付金を活用し、就業機会を創出、雇用の安定を図る事業を実施する。

7. 創業人材育成事業の取り組み
創業に向けて具体的な行動計画を有する者等を対象として、創業に至るまでに必要な具体的知識等を習得する短期集中研修をゼミナール形式で開催する。

8. 地域資源 全国展開プロジェクトの取り組み
小さくても きらりと光る
～豊潤な志摩の海が育んだ 埋れた資源を大きな宝へ～
この地域ならではの地域資源を活用した特産品の開発を実施する。
現在廃棄されているアコヤ貝の貝肉を活用した発酵カマボコの試作、また、食用期を過ぎた牡蠣オイスタースを試作する。
現状で廃棄されている（あるいは価格の安い）水産資源の再利用、高付加価値化を図り、アウトレット市場に出品する。
真珠層の粉末を配合した真珠ハンドクリームを試作する。
料理後、廃棄されている伊勢海老の殻を使った塩を試作する。

平成21年度 紀北町商工会地域貢献アピールプラン

「自然の鼓動を聞き みなが集い、にぎわう やすらぎのあるまち」を進める紀北町。このため紀北町商工会は、「地域に活力を」共につくろう強い商工会を」スローガンに、『MAKE3』を目指して、本年度、以下に掲げる事業に重点的に取り組むことにより、紀北町の小規模事業者を中心とした中小企業振興をはじめ地域課題解決、地域のさらなる発展に貢献して参ります。

MAKE3 (メイク・スリー)

1. 強い商工会づくり 2. 産業・企業づくり 3. 人・まちづくり

1. 強い商工会づくり

自己財源のUP、組織・事業強化による商工会機能のパワーアップ。

(1) 「ふれあい共済」・「福祉共済」・「商工会カード」の推進

7ヶ月の新聞チラシで積極的に加入推進を行い目的達成に努める。

ふれあい共済	2,400口(2,304口)
福祉共済	500口(316口)
商工会カード	80%: 650口

(2) 全国商工会連合会・全国重点推進事業の実施

会員増強運動

国直轄事業等の推進

ネットde記帳による自計化の推進

中小企業新事業活動促進法による計画策定又は新創業融資制度に係るビジネスプラン、経営革新ガイドラインによる診断・指導等

地域貢献アピールプランの策定

2. 産業・企業づくり

これまでの支援・指導実績をベースに、個人レベルの向上も視野に入れた、企業や中小企業組合・各種任意団体などへの広角的な事業支援により具現化を図ります。

(1) 「きほく定額給付感謝フェア」の実施【紀北町・不況対策助成事業】

景気後退下での住民の不安に対処するため住民の生活支援を行うことを目的とし、住民に広く給付することにより、地域の経済対策に資するものとして“定額給付金”が給付される。この“定額給付金”に併せて町内での消費活性化を目的に不況対策事業の一環として『きほく定額給付フェア』を開催する。

“定額給付金”に併せて不況対策事業の一環として消費者の町外流出を防ぎ、町内での消費向上を目的にフェアを実施。

目標町内消費額：1億円(給付金額：約3億円)

目標参加店数：200店。

(2) 「地域力連携拠点事業」の実施【中小企業庁・直轄補助事業】

昨年度、優秀拠点として中小企業庁長官賞を受賞致しました。本年度も引き続き経済産業省・中小企業庁から指定を受け紀北町商工会が窓口の拠点となり、東紀州地域の「がんばる小規模企業」に対し次の事業を行い、経営課題等の解決に向けた具体的な指導及び支援を行います。

相談事業：応援コーディネーター2名が約280日駐在して各種経営課題に対する相談に対応。

